

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

岐阜県 美濃市
が応援するふるさと名物

- ◎ 美濃和紙の商品群
- ◎ 美濃和紙を活かした産業観光





1300年の伝統を誇る美濃和紙の産地

美濃市は、日本の中央に位置し、豊かな自然によって育まれた1300年の伝統を誇る「美濃和紙」の産地です。

市内には、美濃和紙の里会館や、江戸時代から明治・大正時代に紙商人によって築かれた歴史的建造物が建ち並ぶ「うだつの上がる町並み（国重要伝統的建造物群保存地区）」などがあり、年間を通じて多くの観光客が訪れています。

また、毎年開催される美濃和紙あかりアート展は、「美濃和紙」と「うだつの上がる町並み」のコラボレーションとして、数多くの独創的なあかりの作品が展示され、幻想的な世界が醸し出されます。



1

主な地域資源

◆美濃和紙

日本最古の紙のひとつが、正倉院に保管されている大宝2年（702年）の美濃国ですかれた戸籍用紙です。1,300年も昔でありながら、美濃の紙は繊維がむらなく絡み合い、現代のものと同じように柔らかみのある独特の肌ざわりを持っています。

室町時代には、美濃の町で六歳市が開かれ、美濃和紙は近江商人によって全国へ広められました。江戸時代になると、紙の需要が増大するとともに美濃和紙が全国を席卷し、「美濃」が和紙の代名詞になるほどの生産量を誇っていました。

美濃和紙の流通量が増大するにつれ、美濃の町はうだつの上がる商家が立ち並び繁栄を極めました。

平成26年11月には和紙：日本の手漉和紙技術として、本美濃紙（ほんみのし）がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、美濃和紙の技術は国内外に高く評価されています。

また、手すき和紙の技術を発展させた、機械すき和紙技術は和紙のみならず、絶縁紙、導電紙や不燃紙など、工業的付加価値を持った特殊紙も生産しています。



2

ふるさと名物

◆美濃和紙の商品群

☆本美濃紙（ほんみのし）

国の重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録された本美濃紙は、伝統の製法で作られる薄くて丈夫な美しい紙で、障子紙や文化財修復紙などに用いられています。

☆美濃手すき和紙

伝統的工芸品に指定されている美濃手すき和紙は、本美濃紙の技術を基に作られ、様々な用途に対応して多種多様な手すき和紙を生産しています。

☆美濃機械すき和紙

手すき和紙の技術を基に、和紙の他にも絶縁紙、導電紙や不燃紙など、ユーザーのニーズに対応して、柔軟に対応できる高度な技術力があります。



3

その他

◆美濃和紙を活かした産業観光

和紙の情報発信基地である「美濃和紙の里会館」では、和紙に関する展示の他、本格的な紙すき体験も行うことができ、多くの人で賑わっています。

また、平成28年度にオープン予定の「美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎」では、昔ながらの紙すきの家を再現し、間取りなどに見られる、先人たちの創意工夫が学べ、美濃手すき和紙の技が見られる施設です。

また、「美濃和紙」と「うだつの上がる町並み」のコラボレーションとして人気の美濃和紙あかりアート展では数多くの独創的なあかりの作品がうだつのあがる町並みに展示され、毎年、数多くの観光客が訪れています。



1

独自の支援策

◆美濃和紙伝承千年プロジェクト

ユネスコ無形文化遺産に本美濃紙が登録されたことを契機として、1,300年の間、受け継がれている美濃和紙の技術を後世に残すことを目的として、美濃和紙伝承千年プロジェクトを立ち上げました。これにより、美濃手すき和紙技術や文化の伝承、美濃和紙産業の振興、観光産業の振興を推進します。

2

協議会
事務局

◆千年プロジェクト推進体制

★美濃和紙保存・継承協議会

- ・後継者育成に関すること
- ・和紙原料、用具の安定供給に関すること

★美濃和紙産業活性化協議会

- ・和紙産業の振興に関すること
- ・観光産業の振興に関すること
- ・世界への情報発信に関すること

